

# 安全に避難するための心得

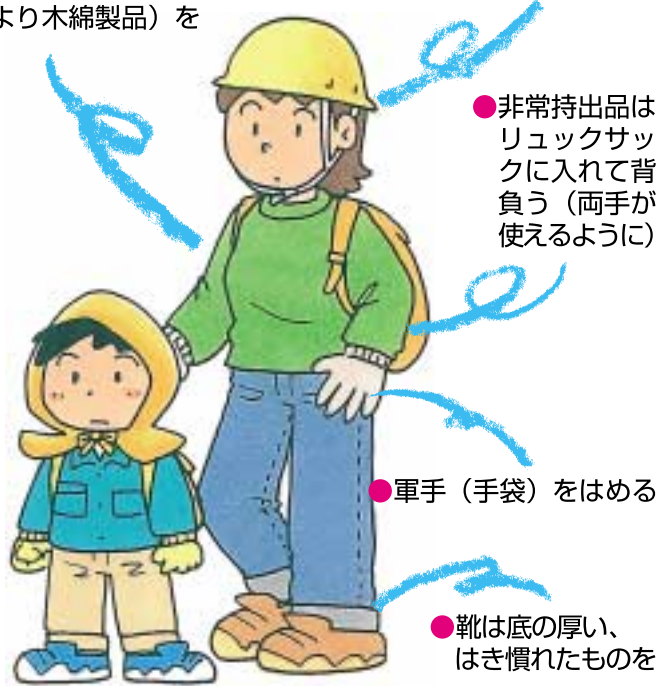
## こんなときは急いで避難

- 市区町村、警察署、消防署、自主防災組織から指示があったとき。
- 津波、土石流、がけ崩れ、地すべりなどの恐れのあるとき。
- 建物が倒壊する恐れのあるとき。
- 近隣で火災が発生し、延焼の恐れのあるとき。
- 自宅で火災が発生し、火が天井まで燃え移ったとき。
- 危険物が爆発する恐れのあるとき。



## 避難するときはこんな服装で

- 長袖・長ズボンを着用。材質は燃えにくいもの（化繊より木綿製品）を
- ヘルメット（防災ずきん）をかぶる



## 安全避難のポイント8か条



- 1 避難する前に、もう一度火元を確かめる（ガスは元栓を締め、ブレーカーも切る）。
- 2 家には避難先や安否情報を記したメモを残す。
- 3 各自が防災カードを持ち、荷物は必要最小限にする。
- 4 ヘルメット（防災ずきん）で頭を保護し、長袖・長ズボンなどの安全な服を着用する。
- 5 車は使わず、必ず徒歩で避難する。
- 6 お年寄りや子どもには声をかけ、手をしっかり握る（乳児は背負う）。
- 7 狭い道、川べり、塀や自動販売機のそば、ガラスや看板の多い場所を避けて避難する。
- 8 できるだけ集団で指定された避難場所へ避難する。